

第11期 (2024年度)

ジャーナリズム公開講座 (全13回)

第4回 6月24日(月) 18:30~20:30

代議制民主主義の限界と直接民主主義

「選挙の時だけ主権者」ではなく「365日ずっと主権者」でいよう

国民が政治に参加する手段は、選挙だけでは不十分です。国会は合意を形成する機能を失い、私たちは選挙期間だけの主権者に陥っています。国民が発案権や拒否権を行使し、政府と議会の質の向上を促す直接民主主義制度の可能性について、日本各地の自治体と諸外国の例をもとにお話しします。

ジャーナリスト 今井 一



【講師略歴】1954年大阪市生まれ。81年からポーランドやソ連で民主化運動を取材。96年からは新潟県巻町・刈羽村、岐阜県御嵩町、名護市、徳島市、岩国市などの住民投票、2016年の英国など欧州諸国の国民投票の実施実態を取材。2006-07年に衆参両院の憲法調査特別委員会に5回招致され、国民投票のあるベキルールや諸外国での実態について陳述。[国民投票/住民投票]情報室代表、INIT国民発議プロジェクト企画・運営委員。著書は『住民投票の総て』(編著)、『国民投票の総て』(編著)、『「解釈改憲=大人の知恵」という欺瞞』、『CZESC(チェシチ)! うねるポーランドへ』(ノンフィクション朝日ジャーナル大賞)など多数。

申込方法(要事前申込/先着)

会場開催 もくせい会館第1会議室

定員 70名 静岡市葵区鷹匠 3-6-1



左の二次元コードまたは下記のホームページからお申込みください。

●申込期限
6月23日(日)17:00

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー



右の二次元コードまたは下記のホームページからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。

●申込期限
6月23日(日)17:00

静岡県立大学グローバル地域センター <https://www.global-center.jp/>

電話: 054-245-5600 E-mail: nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp (担当:西)